



キャリア通信

夢をはぐくむキャリア教育



～ 大好きな自分 ないたい自分 みんなと生きる自分 ～

平成27年1月9日 No. 10

キャリア教育 6年 絆を育む学校づくり支援事業

キャリアプランニング
能力

「相手以上に相手を思う」 ～ホスピタリティ～

人間関係
社会形成能力
の育成

異校種が集まる『文教ゾーン』に位置する本校のよさを生かした取組の1つとして、コア専門学校の観光ホスピタリティ科の林先生を講師にお招きしてキャリア教育の授業を行いました。授業は、6年生の総合的な学習の時間に位置付けられている『はたらくことについて』という単元です。キャビンアテンダントの仕事を通して、ホスピタリティとは何かを何う体験学習として、実施しました。



ホスピタリティについてのお話から、今、学校で学んでいることとこれからの自分の生き方にはつながりがあることを、学ばせていただきました。生徒指導部を中心として、日常的に励行している挨拶のルール、マナーを守ることなどは社会に出てからも重要なものであり、小学校のうちからしっかり身に付けることで、自分も相手も気持ちよく生活できる大切なものであることをお話されていました。『相手以上に相手を思う「おもてなし」の心がホスピタリティである』ことを学んだ今回の授業は、子ども達にとって人との関係を築く上で大きな財産を得る機会となりました。

帯広コア専門学校
観光ホスピタリティ科
主任 林 佳奈子先生

シンガポール航空でキャビンアテンダントとしてのご経験をもち、現在はホスピタリティについて生徒さんへの授業や講演など幅広く活躍されています。



課題について交流する子ども達

子ども達の未来につながる財産 (感想)

私が初めて知ったことは、マナーについてです。説明を聞く前は自分のため、自分の良いところを見せるだけだと思っていましたが、林先生の話聞いて、マナーは自分のためでもあり、相手がどう感じるのかということを知りました。だから、誰かに怒られてしまったら、「どうして怒られたのか」「どうしたら怒られないか」を深く考えて行動したいです。

これからは生かしたいことは、夢に向かっての3ステップです。この3つのステップを行って、夢をかなえたいです。私の夢が叶う一歩が今日できたと思いました！
6年 今泉 るな

私は今回の授業を通して、ホスピタリティ（おもてなし）の大切さを知りました。良いことをすると、それは4倍になって返ってくることに驚きました。あと、マナーとは、自分が何をしたかじゃなくて、相手がどう思ったかが大切だということを知りました。私はいつも自分は何をしたという自己満足で終わっていたので、もっともっと相手のことを考えて、行動したいと思います。あと、私はすごく忘れ物をしてしまうので、『準備9割』を合言葉にこれから気を付けたいです。
6年 大和谷 ゆみ